

表 紙

平成30年度 事業計画書

説明順序	事業所課名	説明順↓
①	特別養護老人ホーム 久喜の里(従来型) 50床 短期入所生活介護事業所 久喜の里(従来型) 10床	
②	特別養護老人ホーム 陽日館(ユニット型) 50床 短期入所生活介護事業所 陽日館(ユニット型) 空床型	
③	看護課(特養 久喜の里、陽日館)	
④	栄養課(特養 久喜の里、陽日館)	
⑤	通所介護事業所(デイサービス) 久喜の里 定員35名	
⑥	訪問介護事業所 久喜の里	
⑦	居宅介護支援事業所 久喜の里	
⑧	久喜市委託事業(いきいきデイサービス)(久喜市生活援助サービス)	
⑨	地域貢献事業(法人活動)	
⑩	特別養護老人ホーム 喜びの里鷺宮(ユニット型) 100床	
⑪	短期入所生活介護事業所 喜びの里鷺宮(ユニット型) 空所型	
⑫	看護課(特養 喜びの里鷺宮)	
⑬	栄養課(特養 喜びの里鷺宮)	
⑭	地域密着型 通所介護事業所 喜びの里鷺宮 定員18名	

社会福祉法人 茂樹会

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の特養久喜の里は、法人理念に基づいて「思いやりの心で あったかい介護」を目指します。そして、利用者様が「安全」かつ「安心」して楽しく生活できることを第一に考えて事業を計画します。そのために、職員に何が求められているのか、何を提供すべきかを考え行動いたします。

今年度の取り組み重点6項目は、①利用者様が「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくり、②職員の質の向上、③個別ケアの取り組み、④地域・ボランティアとの関係、関わりの強化、⑤利用率の向上、⑥光熱水費の節減管理・備品コスト削減、以上6つの取り組みを重点に行います。6つの重点項目を達成させるために、具体的な数値目標を設定し、かつその目標を達成するアクションプランを実行していきます。

以上の取り組みは、養護課職員だけでは良い結果はできません。他の部署職員と、円滑な連携・協力を図りながら実施していきます。

また、業務における「効率化」に取り組んでいきます。重複している業務や必要性の有無や過剰な対応になっていないか今一度見直しを行い、職員の業務負担を削減していきます。間接的介護業務の効率化をはかり、直接的介護業務の質、いわゆる利用者様との関わりの部分のケアの質を高めていきます。

さいごに、高齢者介護を取り巻く制度や環境は、日々変化しています。常に先を見つめ、今私たちに求められているものを、柔軟かつ敏速に対応できるようにしていきたいと思えます。

2. 取組み計画(列挙)

以下の取り組み目標を実施します。

- (1)特養本入所率……………96%以上
- (2)ショートステイ利用率……………96%以上
- (3)光熱水費・備品コスト削減……………対象項目 前年対比±0
- (4)ヒヤリハット発見件数……………対前年比5%増
- (5)利用者満足度調査の実施……………年1回
- (6)地域外出への取り組み……………年16回以上
- (7)夢を叶えますプロジェクトの実施……………年7人以上
- (8)地域における公益的な取組の実施……………年1回以上
- (9)内部研修会・内部勉強会の実施(職員の質の確保)……………年15回以上開催
- (10)介護福祉士資格取得者……………1名

3. 備考欄

久喜の里は、開所後20年が経過し、一部施設の老朽化もみられています。平成30年度も修繕事業を視野にいれながら、進めていきたいと考えています。

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の特養 陽日館は、法人理念に基づいて「思いやりの心で あったかい介護」を目指します。そして、利用者様が「安全」かつ「安心」して楽しく生活できることを第一に考えて事業を計画します。そのために、職員に何が求められているのか、何を提供すべきかを考え行動いたします。

今年度の取り組み重点6項目は、①利用者様が「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくり、②職員の質の向上、③個別ケアの取り組み、④地域・ボランティアとの関係、関わりの強化、⑤利用率の向上、⑥光熱水費の節減管理・備品コスト削減、以上6つの取り組みを重点に行います。6つの重点項目を達成させるために、具体的な数値目標を設定し、かつその目標を達成するアクションプランを実行していきます。

以上の取り組みは、養護課職員だけでは良い結果はでません。他の部署職員と、円滑な連携・協力を図りながら実施していきます。そして、「ユニット型特養」という環境をもう一度見つめなおし、ユニットならではのサービスが考えられる人材、ユニットらしいサービスが提供できる人材を育てていきたいと考えています。

また、業務における「効率化」に取り組んでいきます。重複している業務や必要性の有無、過剰な対応になっていないか今一度見直しを行い、職員の業務負担を削減していきます。間接的介護業務の効率化をはかり、直接的介護業務の質、いわゆる利用者様との関わりの部分のケアの質を高めていきます。

さいごに、高齢者介護を取り巻く制度や環境は、日々変化しています。常に先を見つめ、いま私たちに求められているものを、柔軟に対応できるようにしていきたいと思えます。

2. 取組み計画(列挙)

以下の取り組み目標を実施します。

- (1)特養本入所率.....98%以上
- (2)空所ショートステイ利用率.....98%以上
- (3)光熱水費・備品コスト削減
- (4)ヒヤリハット発見件数.....対前年比10%増
- (5)利用者満足度調査の実施.....年1回
- (6)地域外出への取り組み.....年9回以上
- (7)地域貢献事業の実施.....年1回以上
- (8)内部研修会・内部勉強会の実施(職員の質の確保).....年13回以上開催
- (9)介護福祉士資格取得者.....1名

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度、私たち看護師はご利用様が長く健康を維持して、その人らしく充実した毎日をおくることができるように看護していきます。さまざまな健康状態にあるご利用様の健康レベルに応じた支援とご利用様の人間としての尊厳を保ち、生きる意欲を低下させないよう支援していきます。

平成27年度～目標を掲げて業務を行ってきました。目標に対しての達成度はそれなりにあったと思われます。平成30年度は、目標を数値化することで、はっきりとした目線で業務を行っていきます。近年は、ご利用様の個別性、ご家族様の多様化を感じております。個別に応じたケアとご家族のご要望に沿った対応に努めていきます。

また、以下の5つの重点項目を実施します。

- (1)ご利用様の健康管理業務 (2)加算関連業務 (3)委員会業務
(4)職員の質の向上 (5)職員の健康管理業務

以上のことをスムーズに進めるために、多職種との連携や協力を行いながら実践し、ご利用者さまや職員の健康管理の充実に努めていきたいと思ひます。

平成30年度の重点項目をもとに、数値目標を以下のとおり計画し実行します。

2. 取組み計画(列挙)

以下の取組み目標を実施します。

- ①入院日数の短縮……………前年対比 -10%
②光熱費・備品コストの削減……………前年対比 ±0
③「肺炎」での入院を減らす……………前年対比 -5%
④「褥瘡」の発症者を出さない……………発症者数 0人
⑤薬の関する事故件数を減らす……………前年対比 -20%
⑥内部研修会(医務室主催)の実施……………5回開催/年
⑦外部研修会への参加(スキルアップ)……………年2回以上/人

3. 備考欄

栄養課

1. 本年度の重点的な取り組み概要

栄養課は、「思いやりの心であつたかい介護」という当施設の理念に基づいて、ご利用者様が安心安全に楽しく食事を摂り、それが健康維持につながるよう日々の食事を提供しております。

昨年に引き続き、ご利用者様のひとりひとりの栄養ケア計画を作成することで、体調や身体状況について把握、改善すべき課題を明確にし、介護職員、看護職員等多職種と協力のもと健康管理が行えるよう行動します。

今年度は、昨年職員の人で不足等で回数が少なくなってしまったイベント食(手作りおやつ等)を定期で実施できるようにします。ご利用者様の笑顔がみられる企画を工夫したいと思います。

今年度の重点的な取り組み

- ① 栄養管理の実施
- ② 口から食べる楽しみの支援(経口維持加算)
- ③ 食事の個別対応
- ④ 食事サービスの充実
- ⑤ 衛生安全管理の徹底

2. 取り組み計画(列挙)

以下の取り組み目標を実施します。

- (1) 栄養ケアマネジメントの実施
- (2) 経口維持加算実施。内容の構築
- (3) お楽しみ献立継続実施年12回
- (4) イベント食の定期開催
 - ・従来型実演おやつ 年2回以上
 - ・ユニット手作りおやつ(昼食) 年4回以上
- (5) 声かけ多くコミュニケーション図り、嗜好要望、ご利用者様の思いを把握する。
- (6) 水道光熱費の節約
- (7) 保健所の研修参加

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の事業計画においてもまず、経営理念(法人理念)を明確に設定し、職員に浸透させていきます。ご利用者様に、より良いサービスを提供できるよう、多様なニーズや短時間でのご利用にも積極的に対応していきます。そして、地域の方々にも信頼して頂けるデイサービスを構築していきます。

通所介護久喜の里では、今年度の重点項目を6つ取り組みさせていただきます。①利用者様が、「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくり、②利用率の向上、③職員の質の向上、④利用者様の自己決定を尊重する、⑤光熱費の管理・コスト削減、⑥地域連携の拠点構築(地域との関わり強化)を行います。6つの項目が達成できるよう、各項目ごとに目標を数値化・アクションプラン(行動計画)を示して行っていきます。

2. 取り組み計画(列挙)

以下の取り組み目標を実施します。

- ① デイサービス利用延べ人数.....7305名(利用率57.8%)
 【月曜日から金曜日:5572名】【土曜日:1119名】【日曜日:614名】
 デイサービス1日平均.....20.2人
 1日の定員.....35名
 営業日.....年末年始を除く、361日営業
- ②利用登録者数.....80名(実質利用者数75名)
- ③光熱費削減
- ④利用者満足度調査.....年1回
- ⑤ヒヤリハット発見件数.....対前年比20%増
- ⑥選択レクリエーション.....月5回以上/年60回以上
- ⑦地域行事などへの参加を目的とする社会参加への促進.....年間15回(新外出企画1件以上)
- ⑧ボランティア来所数.....年間50回以上(新規ボランティア1件獲得)
- ⑨地域や家族との交流
- ⑩研修会参加.....17回
- ⑪重要文書類の職員確認

3. 備考欄

<p>1. 本年度の重点的な取り組み概要</p>
<p>平成30年度の訪問介護課は、利用者様が可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるようサービス提供をいたします。</p> <p>4月には、6度目の介護保険制度改正があり、在宅における重度者の増加と介護人材不足に対応するため、生活援助については、新たに地域の人材などを活用しようとの動きがあります。当事業所でも、生活援助訪問者の割合が多いため、改正の動向に注意をしていきたいと思えます。</p> <p>現在、サービス提供責任者2名、登録ヘルパー12名で稼働しています。が、利用者様のニーズの時間帯の重なりが多く調整に困難を要してきている現状です。</p> <p>今年度も、国の指針に基づき利用者様も働く側も安心できる事業所を目指します。</p>
<p>2. 取組み計画(列挙)</p>
<p>以下の取り組み目標を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自立した日常生活の支援・ 利用者様・家族様との信頼関係の確保・ 職員の訪問時間の確保・ 記録(方法・様式・用紙)の改善と見直し・ 他職種との連携(随時)・ 苦情の対策・対応(迅速)・ 職員資質の向上と人材育成 研修会への参加・ 特定事業所加算(10%)取得継続・ 人材確保
<p>3. 備考欄</p>

1. 本年度の重点的な取り組み概要

居宅で生活する要介護者等が、住み慣れた地域社会において、その能力に応じて自立した日常生活を、永く生き甲斐をもって営むことができるよう、居宅支援サービスを提供いたします。その為には、現在担当している利用者様と向き合って、ケアマネジメントの基本を振り返りながら対応していきたいと思えます。

また、平成30年4月には介護報酬の改正が行われます。主な改正事項である「医療との連携強化」、「公正中立なケアマネジメント」、「その他、質の高いマネジメントの提供」ができるよう努めていきます。

2. 取組み計画(列挙)

以下の取組み目標を実施します。

- 職員体制を確保し、その他の諸条件を満たして、特定事業所Ⅲの適応を継続
- ケアカンファレンスの開催 ……週1回
- 事業所内会議の開催 ……月1回
- 地域ケア会議への事例提供と参加 ……2ヶ月に1回
- 他法人の居宅介護支援事業所との事例検討や研修会の開催(検討中)
- 内部研修の開催・参加、外部研修の参加
- 介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れ
 - ・平成29年度合格者 ……2名
- 平成30年度主任介護支援専門員更新研修の受講 (該当職員1名)
- 平成30年度介護支援専門員更新研修の受講 (該当職員1名)

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

○いきいきデイサービス

<3会場委託>

※久喜市清久西公民館 研修室……………火曜日実施

※久喜市立本町小学校 教室……………木曜日実施

※久喜市鷲宮福祉センター 面会室……………水曜日実施

各会場:定員15名

<主な取り組み>

- ①毎月1回相談員の情報交換会の実施する。
(各会場の相談員との意見交換会)
- ②各ボランティア団体の導入と活用を推進していく。
- ③日帰り旅行を企画・実施する。
- ④予算の中で、必要なレク用品・遊具、機能訓練機器を購入していく。
- ⑤各会場を活気ある和やかな良い環境になるよう形成していく。
- ⑥運動・言語発生の訓練を重視して行い、健康年齢の維持に努める。
- ⑦「食」の楽しみを実感できるよう、昼食サービス提供に力をいれて取り組んでいく。
- ⑧利用人数の安定のため、口コミなどによる広報活動、利用推進活動。

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

法人としての役割

行政とは視点が異なり、「社会・地域における、福祉の発展・充実を使命とする」公益活動を目的とした民間の非営利組織です。地域の方々が、日常生活の中で必要とする、様々な福祉ニーズにおいてのサービスを提供し、支援する役割を担っていくこととなっています。

2. 取組み計画(列挙)

○「地域における公益的な取組」の内容

- ① 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること
- ② 対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること
- ③ 無料又は定額な料金で提供されること

※平成30年1月より、一部内容に変更あり。

地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めていく観点から、直接的に社会福祉に関連しない場合であっても、間接的に社会福祉の向上に資する取組の場合は該当する。行事の開催や環境美化活動、防犯活動、地域住民に対する在宅での介護技術研修の実施やボランティアの育成なども取組とする。

上記の内容を踏まえて、社会福祉法人 茂樹会では以下の取組を行っていきます。

○取組み計画 ～「我が事」・「丸ごと」の地域づくり～

① 安否確認・見守り活動

高齢者の方は、独居・高齢者世帯だけでなく、日中も独居になってしまう方も対象にしていく。

② 福祉教育の啓発活動

地域の小学生・中学生を対象。高齢者とのコミュニケーションの回り方や車イス等の介助の行い方を実践して学んで頂く。

③ 環境美化活動・災害時に備えた福祉体制づくり

平成29年度は、大雨や大雪と災害が多い年でした。久喜の里がある流地区でも大きく影響がありました。その為、災害時に備えた福祉支援体制づくりを行っていく。

④ 地域住民に向けた介護者教室を実施する(年1回開催)

3. 備考欄

<p>1. 本年度の重点的な取り組み概要</p>
<p>平成30年度の特別養護老人ホーム喜びの里鷺宮は、法人理念に基づき、スローガンを掲げ、ご入居者様の安心、元気、自立の実現することを目的に、社会福祉施設として、専門的な機能を高め、地域に信頼される質の高い介護サービスの提供に努めます。また、ご入居者様に生きがいや安らぎのある生活を提供する為、多職種が協同し、良好なチームワークを持って、接遇に努めてまいります。</p> <p>目標として、</p> <ul style="list-style-type: none">①入居者様に安心感を与え、元気を高める。そして、自立支援を行い、生活をサポートし、自己実現を目的とする。②生きがいや喜び、安らぎのある豊かな日常生活を送れるよう努力する。③チームの情報共有や良好なチームワークを構築して、医療関連施設との連携に力を注いで、質の高いケアを求める。
<p>2. 取組み計画（列挙）</p>
<p>以下の取り組み目標を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none">・年間平均ベッド稼働率、96%以上を目標にする。・平均要介護度、4.1以上を目標にする。 【要介護度5（40%）、要介護度4（30%）、要介護3（30%）】・介護職員の人員体制の確保（日中配置の介護職員1ユニット4人体制）と職員の定着を図り、安定したサービス提供を行う。・ご家族様への報告相談を密に行い、信頼関係を構築し、苦情等の減少に努め、サービスご利用における満足度を向上させる。（施設サービス向上のためのアンケートを年1回実施） 各種行事やイベント等を積極的に企画運営していく。・重大事故（転倒、骨折、窒息等）の発生件数ゼロを目指す。・看護職員の人員体制の確保（日中配置の看護師4人体制）と職員の定着を図り、入居者の健康状態の安定を図る。 <p>※ 鷺宮地区での地域貢献について、様々な地域のニーズに答える大切な役割が求められていますので、行事参加を始め、様々な形で応援していく。</p> <ul style="list-style-type: none">・地区の色々な催しにも積極的に参加する。参加不可能な場合は、飲み物等の提供を・地区の皆様に対して、施設内に「困りごと相談センター」を設置し活動する。
<p>3. 備考欄</p>

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の短期入所生活介護事業所喜びの里鷺宮は、法人理念に基づき、スローガンを掲げ、ご利用者様の安心、元気、自立の実現することを目的に、在宅福祉サービスを提供する事業所として、専門的な機能を高め、地域に信頼される質の高い介護サービスの提供に努めます。

2. 取り組み計画（列挙）

以下の取り組み目標を実施します。

- ・ 長期入院者の空きベッドを利用して、次期入所予定者のミドルステイでのご利用や緊急性の高い在宅ご利用者様の受け入れを積極的に行う。

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の特養喜びの里鷺宮看護課は、医療・福祉の総合的ケアの視点を持ち、ご入居者様の心身機能に応じた自立への支援とご入居者様の尊厳を守り、生活の質の向上と生活機能の低下を予防し、療養生活支援の専門家として、知識・技術を高め、的確な看護判断技術をもって適切な看護サービスを提供します。また、多職種と協同し、ご入居者様の健康の増進に日々努めていきます。

2. 取り組み計画（列挙）

以下の取り組み目標を実施します。

- ・ 入院者及び入院日数の減を目指す。（月あたりの入院者数4～6人以下、入院日数40～60日以下）
- ・ 褥瘡発生者ゼロを目指す。その他、皮膚トラブル等の発生率低下と早期治療を図
- ・ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症罹患者（入居者及び職員）ゼロを目指す。（介護スタッフに対しての研修とマニュアル作成と周知の徹底）
- ・ 健康管理を徹底する為、看護職員の人員体制の確保（日中配置の看護師4人体制）と職員の定着を図る。

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

特別養護老人ホーム喜びの里鷺宮栄養課では、食欲増進に繋がる食事の提供を実施し、ご入居者お一人お一人の栄養状態の変化に気づき、多職種と協力して、適切な対応を行えるよう行動していきます。また、生活に楽しみを感じられるように、お楽しみ献立・焼き立てパン・淹れ立てコーヒーなどのイベントを実施していきます。

《重点的な取り組み》

- ①栄養状態の把握と向上
- ②自力摂取の継続
- ③食べる楽しみを実感できる機会を増やす

2. 取組み計画（列挙）

以下の取り組み目標を実施します。

1. 栄養マネジメントの実施
2. 経口維持加算の実施
3. 療養食加算の実施
4. イベント食の実施
5. 嗜好調査を実施し、献立に取り入れる
6. 施設内をラウンドして、入居者様の状態を把握する
7. 研修会に参加して、最新の情報を取り入れる

3. 備考欄

1. 本年度の重点的な取り組み概要

平成30年度の喜びの里鷺宮デイサービスは、利用者や家族の介護ニーズを捉えたトータルケアをモットーとし、それを実践することで、広く地域からも信用・信頼される事業所を目指すことを継続していきます。具体的な取り組み目標として、下記に6項目を掲げます。

- ① 利用者が、「安全・安心」で楽しく過ごせる環境づくり
- ② 新規利用者の獲得
- ③ 介護サービスの質の向上
- ④ 選ばれる施設を目指す
- ⑤ 地域との連携や関わりの強化
- ⑥ コスト管理と意識の醸成

特に、③と⑤の意識を高めて、その結果として、④を達成し、さらなる新規利用者の獲得にもつながっていきたくと考えております。また今年度は介護報酬改定もあり、財務的にもシビアな環境が想定されます。上述をふまえた上で、⑥を職員での共通認識とし、経営もさらに安定させていく必要があります。

今後も久喜市において必要とされる事業所であるためには、地域で暮らす多くの人たちに、優しく、信頼される事業所を目指します。また、ますます多様化する利用者や家族のニーズに対応できる事業所であるために、職員は、介護技術や知識、人間力の向上のため自己研鑽をまいります。

法人理念である「忠恕」の精神を忘れずに、数値、地域連携などあらゆる面で、前年度を上回るように努力を続けてまいります。

2. 取組み計画(数値目標)

以下の取り組み目標を実施します。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| (1) 利用登録者数 | <u>40名</u> |
| (2) 年間延べ利用者数 | <u>3,180人</u> |
| (3) 利用者満足度調査の実施 | <u>年 1回以上</u> |
| (4) ヒヤリハット活用によるリスクマネジメント | |
| (5) クラブ活動の常設 | <u>4種類以上</u> |
| (6) 定期ボランティアの獲得 | <u>2組以上</u> |
| (7) 地域行事への参加 | <u>1回以上</u> |
| (8) 光熱水費などコスト管理と意識醸成 | |

3. 備考欄